

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年10月 9日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 牛 谷 俊 輔

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年10月23日から 令和 7年10月30日まで
開札期日	日 時 令和 7年11月 6日 午前 9時30分 場 所 宮崎地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7年11月20日 午前 9時50分 場 所 宮崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 7年10月 9日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	3,933,000 3,146,400	一括	786,600	29,555	6,471
1	2,924,000				
2	1,009,000				
備考					

備考

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | 所 在 | 宮崎市大塚台東二丁目 |
| | 地 番 | 13番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 169.63平方メートル |
| 2 | 所 在 | 宮崎市大塚台東二丁目13番地1 |
| | 家屋 番号 | 13番1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 71.21平方メートル |

物 件 明 細 書

令和 7 年 8 月 25 日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 福 山 雄 太

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 2】

賃借権

範 囲 全部

賃借人 A

期 限 令和 7 年 12 月 21 日

賃 料 50,000 円

賃料前払 なし

敷 金 150,000 円

保証金 なし

特 約 なし

上記賃借権は最先の賃借権である。期限後の更新は買受人に対抗できる。

4 物件の占有状況等に関する特記事項

なし

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号 1, 2】

買戻特約登記は、本執行手続では抹消しない。

ただし、買戻特約付売買契約の日から 10 年を経過している。

【物件番号1】

接道部分を除き、隣地との境界が不明確である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありません。また、記載されている事実や判断も要点のみの簡素なものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。また、B I T（不動産競売物件情報サイト）の「お知らせ」ページからダウンロードが可能です。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|---------------------|
| 1 | 所 在 | 宮崎市大塚台東二丁目 |
| | 地 番 | 1 3 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 6 9 . 6 3 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 宮崎市大塚台東二丁目 1 3 番地 1 |
| | 家屋 番号 | 1 3 番 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 7 . 1 . 2 1 平方メートル |

令和7年（ケ）第31号

令和 7年 6月 4日受理

令和 7年 6月 25日提出

現況調査報告書

宮崎地方裁判所

執行官 長 友 善 彦 （印）

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | 所 在 | 宮崎市大塚台東二丁目 |
| | 地 番 | 13番1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 169.63平方メートル |
| 2 | 所 在 | 宮崎市大塚台東二丁目13番地1 |
| | 家屋番号 | 13番1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 71.21平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	「住居表示未実施」	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件） ☐ （物件）	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 現況（概略）図のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項		
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：現況概測㎡	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積：現況概測㎡ }	
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件建物を居宅として使用している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 0 年 0 月 0 日 }	
土地建物の位置関係	☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

占有者及び占有権原 (物件2関係)			
占有範囲		■全部 □一部	
占有者		□債務者 ■A	
占有状況		□敷地 □駐車場 □ ■居宅 □事務所 □店舗 □倉庫 □	
■関係人(■A(占有者) ■C(所有者Bの息子))の陳述/□提示文書()の要旨			
占有権原		■賃借権 □使用借権 □無権原 □不明	
占有開始時期		平成25年12月22日	
最初の契約等	契約日	平成25年12月22日	
	期間	平成25年12月22日 ■平成26年12月21日まで 1年間 □期間の定めなし	
更新の種別		□合意更新 ■自動更新 □法定更新	
現在の契約等	期間	令和6年12月22日から ■令和7年12月21日まで 1年間 □期間の定めなし	
	貸主	■所有者 □その他の者()	
当事者	借主	■占有者 □その他の者()	
	賃料・支払時期等	毎月 金50,000円(毎月末日限り 翌月分支払) □前払(分 円) □相殺(分 円)	
敷金・保証金		□ない ■ある(■敷金150,000円 □保証金円)	
特約等		□譲渡・転貸を認める □	
その他			
執行官の意見		■上記のとおり □下記のとおり □「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (占有者)	1 目的建物物件2は、所有者Bから月額5万円で賃借しています。賃貸借契約書及び振込証明書は立入調査までに準備しておきます。 2 目的建物物件2の不具合箇所は、立入調査時に説明します。
■ C (B (所有者) の息子)	1 目的物件をAに賃貸していることは間違いありません。 2 目的土地物件1につき、隣接土地所有者との間で境界紛争等はありません。 3 立入調査には立ち会えません。
■ A (占有者)	1 目的物件の賃貸借内容は、提示した賃貸借契約書記載のとおりです。なお当初の貸主はDでした。 2 目的建物物件2の和室①の南西側の窓にひびが入っています。また、和室②の北西側の窓は割れて抜け落ちたままです (写真⑨)
執行官の意見	
1 目的建物物件2は、内外に経年によるかなりの劣化や汚損等が見られるほか、占有者Aが説明した不具合のほか、建物内部は、状態を確認できない箇所があるくらい日用品やごみが散乱し、加えて異臭がした。また、脱衣所の床に撓みを感じた。 2 目的土地物件1の境界は、周囲の一部にブロック積み及び北西角付近に境界石柱が存在するものの、接道部分を除き、不明確で協議を要する。 なお、北西側隣地(29番1)との境界にはブロック積みがあるものの、公図及び建物図面とブロック積みの形状が一致していない(写真⑩)。 おって、目的土地物件1の北西側隣地(29番1)は、北西に向かった急傾斜地である。 3 建物図面との照合によると、目的建物物件2の勝手口のコンクリートポーチ等が、北西側隣地(29番1)にはみ出している可能性がある(写真②) 4 本件受命物件の占有関係は、関係人の陳述及び現況から2及び3枚目記載のとおり認めた。	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

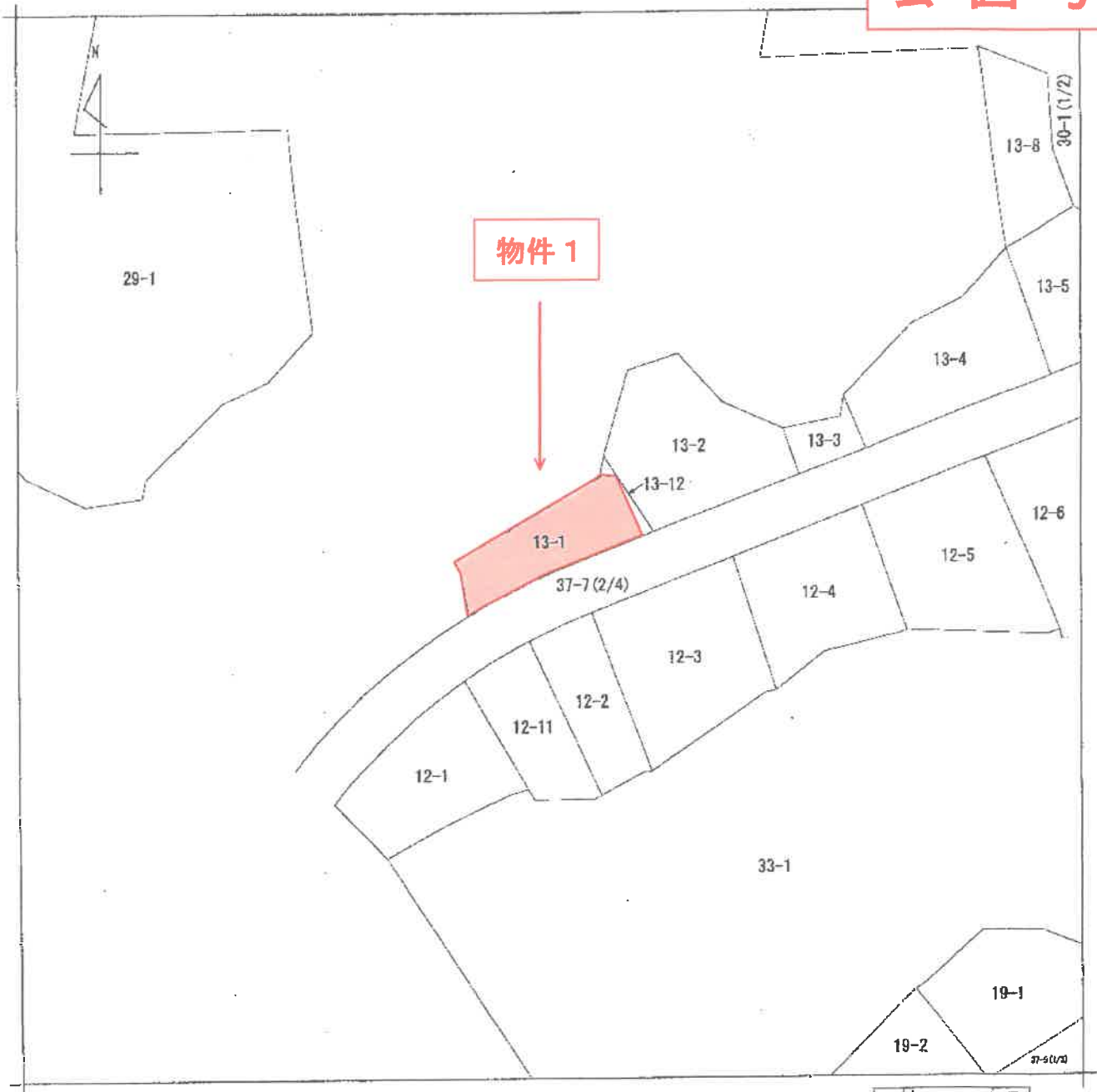
調 査 の 日 時	調査の場所	調 査 の 方 法
R7.6.5 (木) ☒ 13:50 ~ 14:05 (15)	宮崎/法務局	登記簿徴求（底地調査を含む）・公図徴求
R7.6.5 (木) ☐ 14:50 ~ 15:00 ()	宮崎市役所	建物図面交付依頼
R7.6.5 (木) ☒ 15:15 ~ 15:40 (25)	物件所在地	現場所確認，全戸不在（不在通知差置），写真撮影
R7.6.6 (金) ☒ 10:23 ~ 10:39 (16)	電話聴取（携帯）	A（占有者）から聴取
R7.6.11 (水) ☒ 13:24 ~ 13:28 (4)	電話聴取（携帯）	C（B（所有者）の息子）から聴取
R7.6.17 (火) ☒ 10:50 ~ 11:30 (40)	物件所在地	立入調査（評価人同行，A立会），写真撮影
☐ ~ ()		
☐ ~ ()		
☐ ~ ()		
☐ ~ ()		
☐ ~ ()		
☐ ~ ()		
☐ ~ ()		

（調査時間合計） 100 分

* 下記の中で該当する項目の□にチェックをする

- ☐ a 立会人 _____ を立ち会わせた上，解錠技術者 _____ に解錠させて立入調査した。
- ☐ b 物件所在地は不在で施錠されていることが予測されたので，解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。
- ☐ c 休日・夜間執行許可書の提示をした。
- ☐ d 立会人 _____ を立ち会わせた上，立入調査した。
- ☐ e 立会人 _____ を立ち会わせた上，管理会社 に鍵を借り解錠して立入調査した。

公図写



請求部	所在	宮崎市大塚台東二丁目				地番	13番1			
出力尺	1/500	精度		座標系 番号又は記号		分類	地図(法第14条第1項)		種類	土地区画整理所在図
作成年月日					備考 付年月日 (原図)			補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年4月21日
宮崎地方法務局

請求番号：36-1
(1/1)

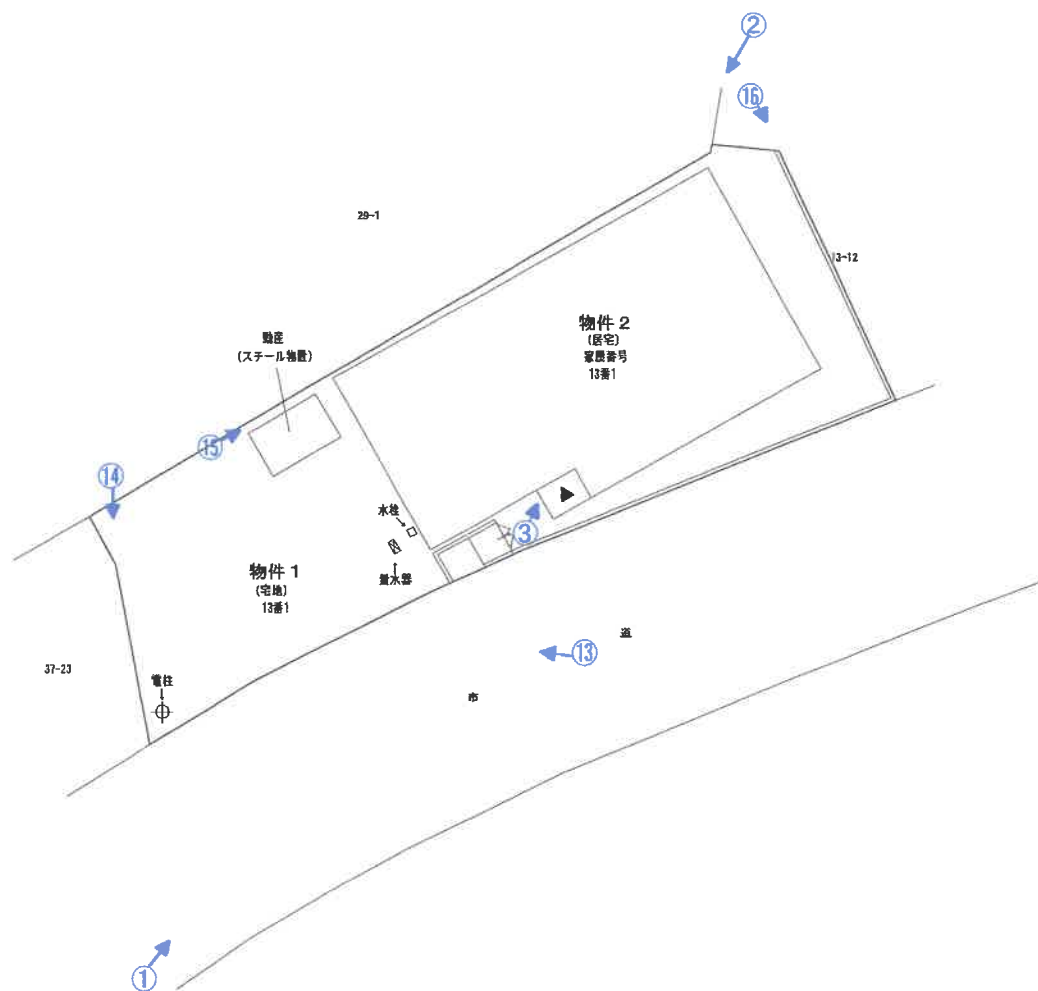
登記官

土地建物位置関係図

写真撮影位置・方向○→



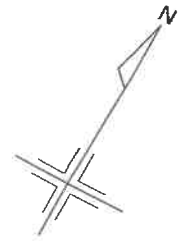
S≒1/200



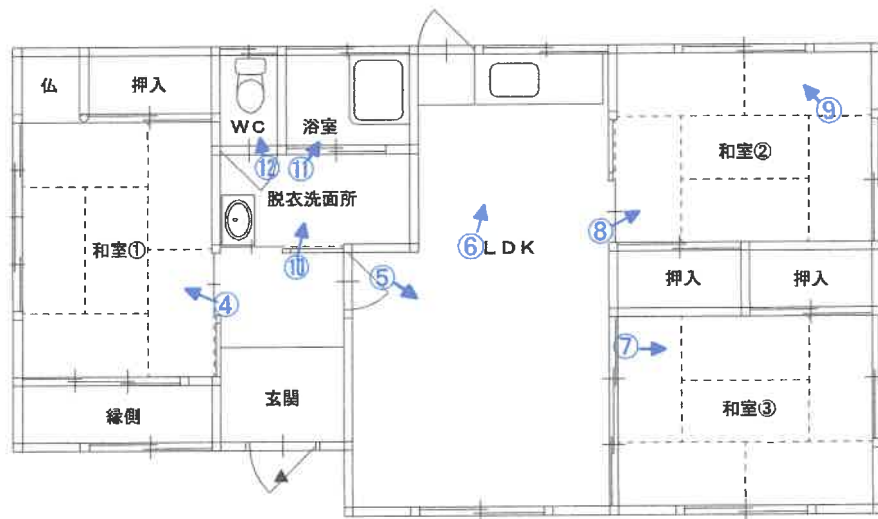
* 土地建物位置関係図は、建物の配置及び利用状況を図示したものであり、境界を確定した図面ではないので注意を要する。

間 取 図

写真撮影位置・方向○→



S≒1/100

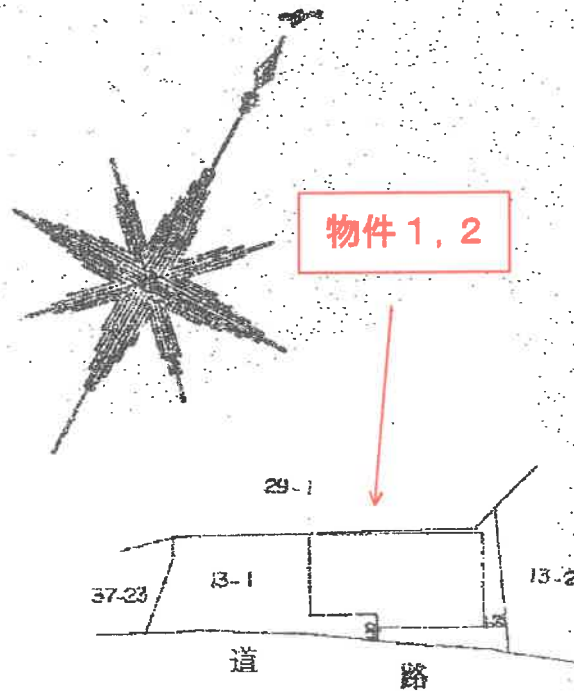


建物図面

家屋番号 13番1

建物図面

建物の所在 宮崎市大塚台東2丁目13番地1



申請人

縮尺 1/500

(宮崎県土地家屋調査士会会員用紙)

昭和63.3.1

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



ガラスの抜けた窓

写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬



写真⑭



目的土地物件 1
(14 枚目)

境界石柱

写真⑮

目的建物物件 2



ブロック積み

写真⑯

目的建物物件 2





令和 7 年 (ケ) 第 31 号
令和 7 年 6 月 17 日 現地調査
令和 7 年 6 月 25 日 評 価

現地調査担当 長友 善彦 執行官

宮崎地方裁判所民事部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

長濱 宏昭

印

第1. 評 価 額

一 括 価 格	
金 3,933,000 円	
内 訳 価 格	
1	金 2,924,000 円
2	金 1,009,000 円

【付記事項】

- 一括価格とは、物件1・2の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行う事を前提とした場合の価格である。
- ①：
- ②： 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③： 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2. 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以後発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3. 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記簿記載と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	宮崎市大塚台東二丁目 13番1 宅地 169.63㎡	
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	宮崎市大塚台東二丁目13番地1 13番1 居宅 木造セメント瓦葺平家建 1階 71.21㎡	
番号	特 記 事 項		
1	本件の北西側隣地(29番1)は法面であり、北西方に下る傾斜が約30°程度あるものと思料する。また、法面の高さについては雑木等が繁茂していることから確認することはできなかった。なお、宮崎市建築指導課への聞き取りの結果、本件は宮崎県の崖地条例に抵触するか不明との事であった。したがって、再建築を考慮する場合には、別途調査・測量を要する。		
1・2	対抗力を有する賃貸借に供されており、敷金が150,000円交付されている。		
住 居 表 示		『住居表示未実施』	

第4. 目的物件の位置・環境等

(1) 物件土地の概況及び利用状況等（物件1）

物 件	1	
位 置 ・ 交 通	ＪＲ日豊本線『南宮崎』駅の北西方・道路距離約5.4km 最寄バス停『市営住宅前』の南東・約310m（徒歩約4分） （別添『位置図』参照）	
付 近 の 状 況	宮崎市市街地周縁部に存する高台の大規模住宅団地である。ただし、本件周辺は当該団地の縁辺部に位置し、その背後は山林であることから区画整然としているとは言えない地域現況にある。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都 市 計 画 区 分：市街化区域	
	用 途 地 域：第一種低層住居専用地域	
	建 蔽 率：40%	
	容 積 率：60%	
	防 火 規 制：なし	
	そ の 他 の 規 制：立地適正化計画区域・居住誘導区域	
画 地 条 件	間 口：約23.0m	
	奥 行：約7.0m（中間的奥行）	
	形 状：概ね整形	
	地 勢：概ね平坦	
	地 盤：普通	
接面道路の状況	南東側で幅員約6.0m市道に接する中間画地。	
土地の利用状況等	物件2の敷地として利用されている。また、物件2の西側にスチール物置（動産）が設置されている（土地建物位置関係図参照）。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道：あり	
	ガ ス 配 管：あり	
	下 水 道：あり	
災 害 等 の 危 険 性	津波ハザード：特になし	国土交通省重ねるハザードマップ （令和7年6月16日時点）
	洪水ハザード：特になし	
	高潮ハザード：特になし	
	土砂災害警戒区域等：特になし	宮崎県土砂災害警戒区域等マップ （令和7年6月16日時点）
	そ の 他：特になし	
埋蔵文化財の有無及びその状態	宮崎市文化財課への聴取によると、周知の埋蔵文化財包蔵地には指定されていない。	
土壌汚染の有無及びその状態	1992年の住宅地図、登記簿等による調査の結果、汚染リスクの端緒は確認できない。	
特 記 事 項	南東側市道との境界は、境界プレートが数か所確認でき、また、側溝で仕切られているため概ね明瞭である。 南西側隣地（37番23）、北西側隣地（29番1）、北東側隣地（13番12）との境界は境界杭等は確認できず、境界は不明確であるため協議を要する。なお、本件には地積測量図が存することから、境界の復元は可能であると思料する。	

第4. 目的物件の位置・環境等

(2) 物件建物の概況・利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的 残 存 耐 用 年 数	建築年月日 (登記記載) : 昭和53年11月25日新築 経過年数 : 47年 経済的残存 耐用年数 : 2年
仕 様	構 造 : 木造
	屋 根 : セメント瓦葺き
	外 壁 : サイディング
	内 壁 : ビニールクロス等
	天 井 : プリント合板等
	床 : フローリング・畳等
	設 備 : 給排水設備等
	そ の 他 : 特になし
床 面 積 (現 況)	現 況 : 71.21㎡
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 居 宅
	間 取 り : 3 L D K
品 等	建物の品等 : 中位
	使用資材 : 中位
	施 行 : 普通
保 守 管 理 の 状 態	建物全体は保守管理状況が全般的に悪く、床・壁に汚れが目立つ状態にある。脱衣所の床にたわみが確認できた。また、床に日用品・ゴミが散乱している状態にあり、目視不能な部分が多々あった。したがって、室内は異臭が漂う状態にある。
建 物 の 利 用 状 況	現況調査報告書のとおり
特 記 事 項	建物の基礎に複数のひび割れが確認できた。また、和室①の南西側窓にひびが入り、和室②の北西側の窓のガラスが抜け落ちた状態にある。 建物図面、実際の建物の配置からすると、勝手口の外側に設置されている踏石が、北西側隣地(29番1)に越境している可能性がある。

第5. 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

① 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次の通り求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積(㎡) ウ	建付減価 エ	その他補正 オ	建付地価格(円) ア×イ×ウ×エ×オ
1	57,000	0.900	169.63	1.00	—	8,702,000

(ア) 標準画地価格：第6の参考価格資料を参照のこと

(イ) 個別格差：物件1 奥行短小 0.90 相乗積 0.900

(ウ) 地積：公簿数量による

(エ) 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

(オ) その他補正：なし

② 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価(円/㎡) ア	現況延床面積(㎡) イ	現 価 率 ウ	建物の価格(円) ア×イ×ウ
2	190,000	71.21	0.029	392,000
計				392,000

ウ 現 価 率：（経済的残存耐用年数／経済的全残存耐用年数）×（1－観察減価率）

物件2 （ 2年 ÷ 49年 ） × （ 1 － 0.30 ） ÷ 0.029

観察減価率 通常使用を上回る室内の汚れ・破損、床のたわみ、基礎の複数のひび割れ等を考慮した。

2. 評価額の決定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格(円) ア	イ 敷 地 利 用 権 割 合			敷地利用権価格(円) ア×イ
		率	利 用 権	及ぶ範囲	
1	8,702,000	0.30	法定地上権	1.00	2,611,000
合計					2,611,000

イ : 物件2の土地利用権を法定地上権と判定し、その割合を30%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算(円) イ	占 有 減価率 ウ	市場性 修 正 エ	競売市 場修正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	8,702,000	－ 2,611,000	1.00	0.80	0.60	2,924,000
2	392,000	＋ 2,611,000	0.70	0.80	0.60	1,009,000
計	9,094,000	一 括 価 格 (合計)				3,933,000

ウ 占有減価修正 : 対抗力を有する借家権を具備するために減価を施した。

エ 市場性修正 : がけ条例による再建築時の規制を受ける可能性、踏石の越境可能性等を考慮した。

オ 競売市場修正 : 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性を考慮した。

* 敷金返還等 : 窓ガラスの破損のほか、室内の汚濁により、原状回復費用が差入れ額を上回る可能性が高く、敷金返還による控除は不要と判断した。

第6. 参考価格資料

(1) 公示(基準)地価格

公示(基準)地番号：宮崎(公)-46	
所 在	：宮崎県宮崎市大塚町馬場崎3532番6
価 格	：57,800円/㎡
位 置	：南宮崎 4.2km
価 格 時 点	：令和7年1月1日
地 積	：165.00㎡
供 給 処 理 施 設	：水道・下水
接 面 道 路	：東 4m 私道
用 途 指 定 等	：市街化区域 第一種低層住居専用地域（建蔽率：50%、容積率80%）
地 域 の 概 要	：一般住宅の中に農地が見られる住宅地域

(2) 固定資産評価額 （令和7年度土地・家屋（補充）課税台帳登録証明書による）

物件1	： 5,577,773 円
物件2	： 985,886 円

(3) 標準画地価格の査定

標(基)準地 番 号	公示(標準) 価 格	時点修正	標準化補正	地域格差	規(比)準価格 とした価格
基準地	(円/㎡)				(円/㎡)
宮崎(公)-46	57,800	$\times \frac{(100.5)}{100}$	$\times \frac{100}{(100)}$	$\times \frac{100}{(102)}$	$\div 57,000$

時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

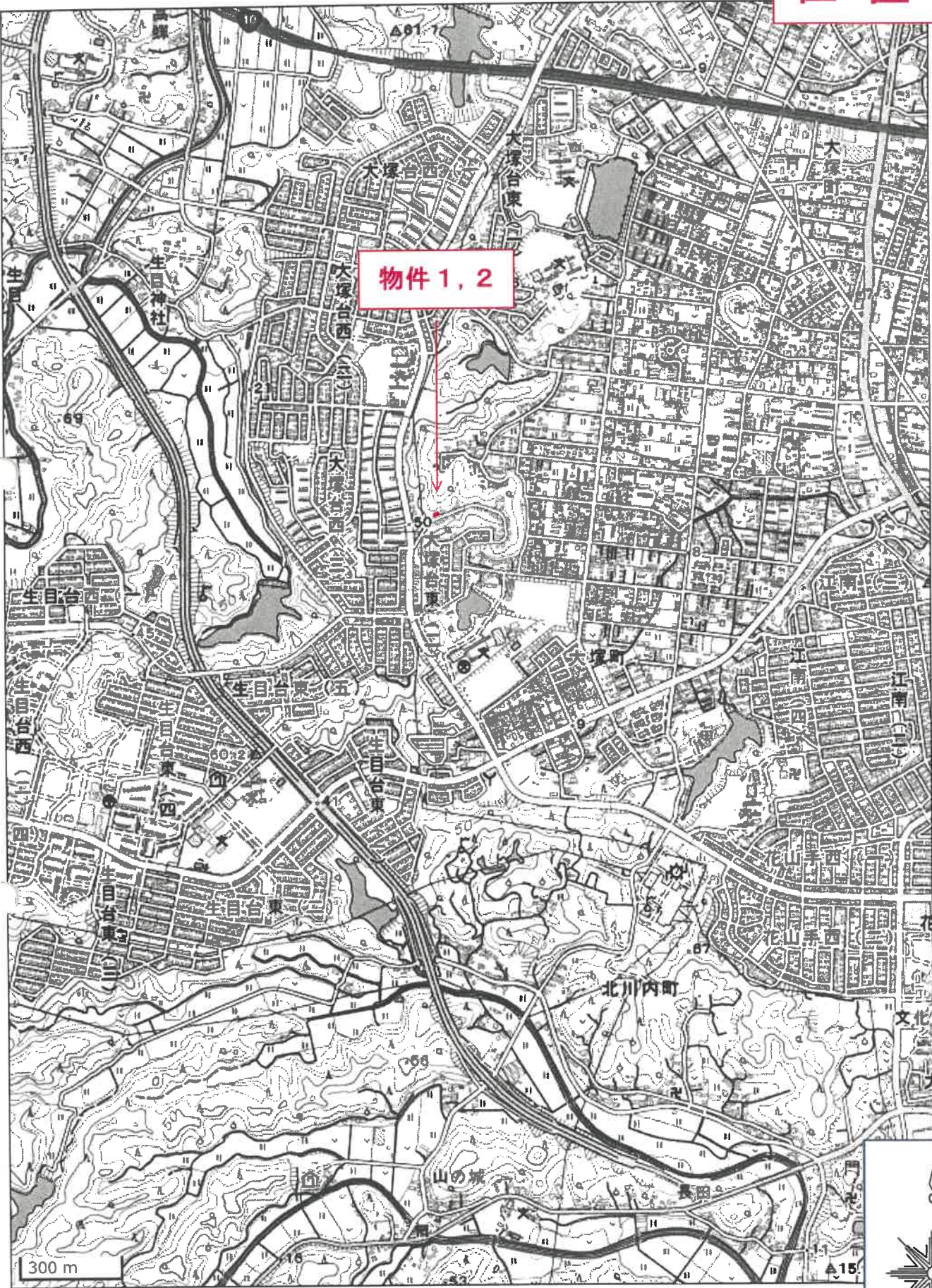
標 準 化 補 正：標準的画地：1.00

地 域 格 差：交通接近 1.00 街路 0.93 環境 1.10 $\div$ 1.02

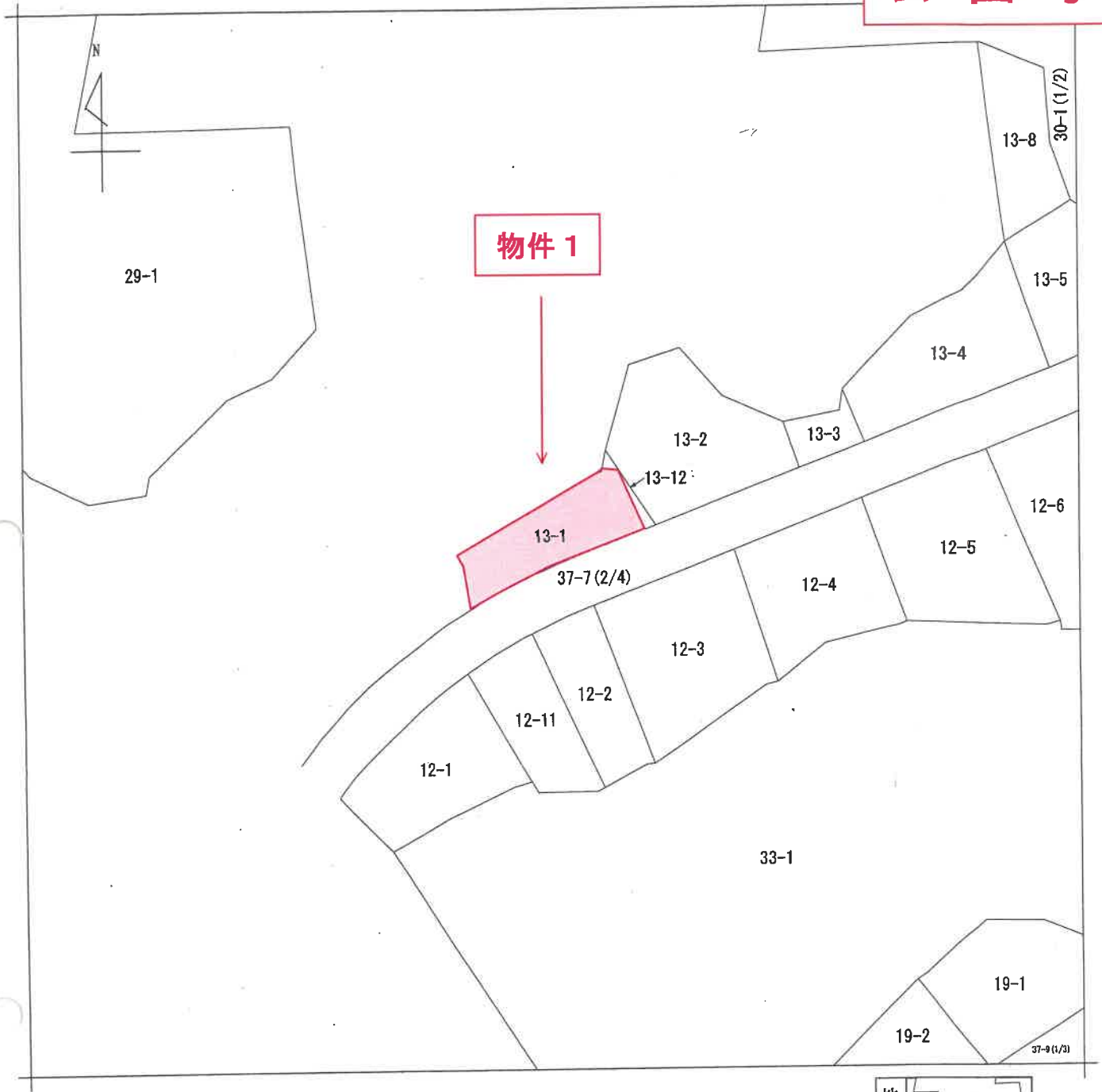
第7. 附属資料の表示

1. 位置図
2. 公図写
3. 土地建物位置関係図
4. 間取図
5. 現況写真

以 上



公 図 写



請 求 部 分	所 在	宮崎市大塚台東二丁目				地 番	13番1			
出 力 縮 尺	1/500	精 度 区 分		座 標 系 番 号 又 は 記 号		分 類	地図(法第14条第1項)		種 類	土地区画整理所在図
作 成 年 月 日					備 付 年 月 日 (原 図)			補 記 事 項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年4月21日
宮崎地方法務局
登記官

請求番号：36-1
(1/1)

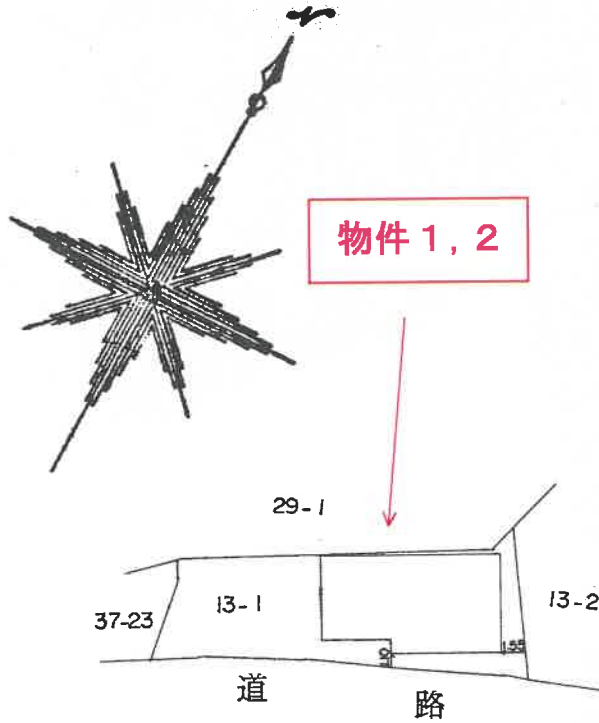
(A 3 版をA4版に縮小)

建物図面

家屋番号 13番1

建物図面

建物の所在 宮崎市大塚台東2丁目13番地1



申請人

縮尺 1/500

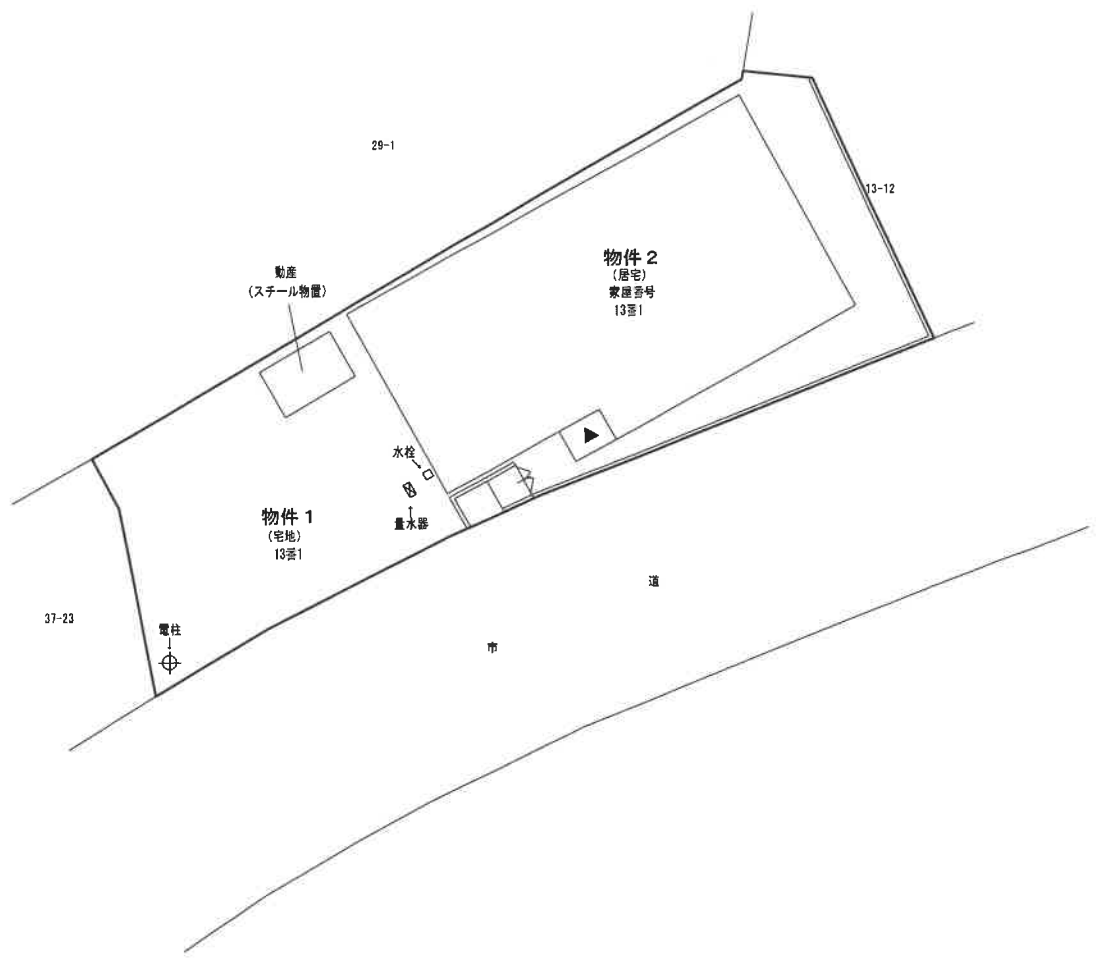
(宮崎県土地家屋調査士会会員用紙)

昭和63. 3. 1・

土地建物位置関係図

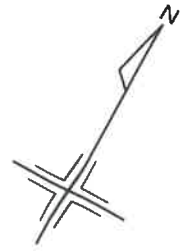


S≒1/200

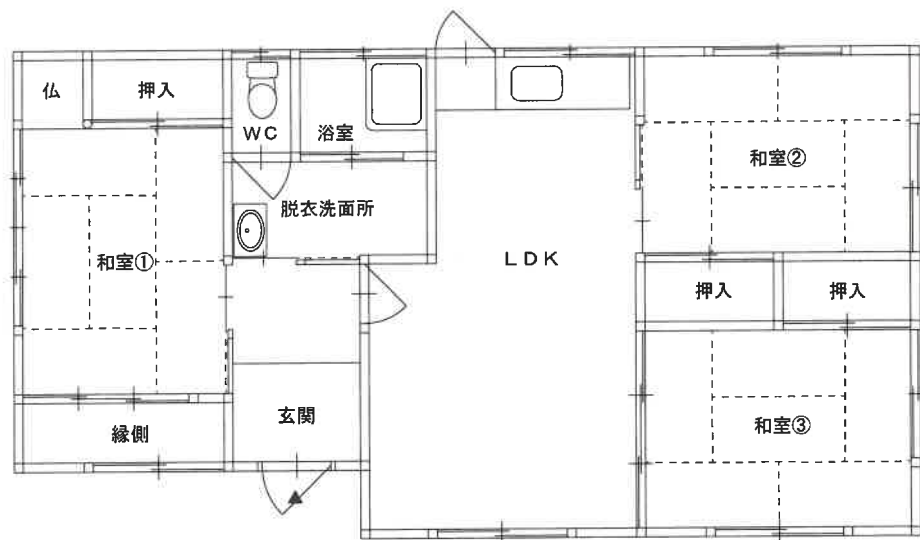


* 土地建物位置関係図は、建物の配置及び利用状況を図示したものであり、境界を確定した図面ではないので注意を要する。

間 取 図



S≒1/100





南西方よりのぞむ



南東方よりのぞむ